



# 国 労 西 日 本

国労西日本本部

NO. 313

発行責任者 植田 重信  
編集責任者 片岡 有宏

国労西日本HP



国労西日本 検索

## 次世代に国労運動を継承していこう 労働条件改善に向け全職場から！



### 第二五回定期西日本本部大会

## 安全で安心できる鉄道輸送の確立

## 組織拡大に全力をあげよう

国労西日本本部は8月24日、国労大阪会館において第35回定期西日本本部大会を開催し、この一年間の闘いの総括を行い、安全輸送の確立、労働条件の改善、組織拡大、総選挙勝利、22春闘等の諸課題について今後一年間の闘う方針を確立しました。大会は、職場・地域での様々な問題、新採問題をはじめとする組織拡大に対する取り組み、ローカル線廃止反対、春闘における意思統一の取り組み、総選挙勝利、地域との共闘した闘いの報告など活発な議論が行われました。



議長団 安東代議員 田中代議員

大会は、中野執行副委員長長の司会で開会されました。

代議員30名中30名の出席、執行部10名中10名、会計監査員2名中2名の出席で大会が成立し、議長団には、議長に近畿地方本部選出の安東代議員、副議長に同じく近畿地方本部選出の田中代議員が選出されました。その後、森田委員長長のあいさつ、経過報告、協約・協定の締結、二〇二一年度運動方針、決算・予算の承認がありました。ストライキ権投票では、満場一致で採択されました。大会宣言を読み上げ、最後に植田新委員長長の団結ガンパローで終了しました。

### 【来賓の皆さん】

交通共済

西日本事業本部

里内本部長

国労本部

木村執行副委員長

岩元書記長

辻執行委員

羽生会計監査員

### 国労西日本本部

### 森田執行委員長挨拶要旨



#### 組織拡大

組織拡大は相手を変える闘争であり、そのためには自身も変わらなければなりません。自分との闘いも必要になってきます。加入の訴えを躊躇することなく、正面から堂々と労働組合とは何か、労働者はどう生きるべきかを熱く語る自信と確信を持つことが必要です。

#### 安全・安心輸送の確立

福知山線事故から16年が経過し、今後は事故の教訓から定義された8つの視点に基づく安全の取り組みを監視し、福知山線事故を風化させず安全を最優先とする企業風土確立の取り組みを強めていかなければなりません。

ローカル線問題を国民の移動する権利・交通権の立場から捉え公共交通として利便性を確保し地域住民の足、地域の活性化を図るため、この間の運動の教訓に学び、自治体への要請や利用者・地域住民との様々な共同行動などの存在運動を展開することが重要であります。

#### 労働条件改善 権利の確立

「内部留保の一部を切り崩

して賃金の引き上げを」の我々の要求に対しては会社はゼロ回答であるにもかかわらず、その一方で株式配当は減配といえども内部留保である利益剰余金を切り崩して配当をしています。別途回答として2021年年末手当での国労要求(3・0ヶ月)の満額回答をめざし、全力で闘いを進めることと、2022年春闘に向けて、生活実態・賃金アンケートで出される回答をベースに人間らしく生活をしていくために生活費としていくらか必要なか生計費原則での要求討議と要求確立で、全国統一闘争を展開することがますます重要となってきました。

#### 政治課題

菅政権の政治姿勢は破綻した新自由主義であり、それは「自己責任論」を押し付け本来、国が国民生活を守るといふ「公助」を疎かにし、人間を分断し、人間の連帯を破壊して不合理な現実を容認させるものです。来るべき衆議院総選挙では、自公政権が推し進める破綻した新自由主義路線の政治に終止符を打ち、格差是正と国民生活をしっかりと応援する政治への転換を求め野党共闘を中心とした選挙戦勝利のため全力を挙げようではありませんか。

# 第35回定期大会発言要旨

## 松尾修代議員（近畿）

春闘では、不安と諦めの中で、他組合員から期待の声が出ていた。年末手当・22春闘は、ストライキで勝ち取る。

「みどりの窓口」閉鎖などで利用者・住民の声を無視し、職場では、労災事故が多発し、要員削減で技術継承ができていない。労働者を巻き込んだ運動をしていきたい。

総選挙では、野党革新の勝利で菅政権を倒そう。

## 山脇浩志代議員（近畿）



春闘では、多くの社員が不満で、生活が成り立っていない。年末手当は満額回答を求め、統一行動をしていただきたい。職場では、業務区分の見直しにより、網干工場は委託の拡大が進み、安全・利便性が低下し、重大事故につながる。要求を前

進させる事が重要だ。

## 山口雅幸代議員（北陸）

駅の窓口閉鎖・委託等で44名削減され、駅の利便性が低下する。私たちはその流れを食い止め、本来の駅の役割を考え、問題点を明らかにして交渉していく。

ローカル線の運転半減・ワンマン化拡大を許さず、地交線を守るために国に対して要請行動をしてもらいたい。

## 藤江美男代議員（米子）



春闘はコロナ禍で運動が出来なくなつた。ストライキは慎重に検討してもらいたい。

現場では、外注化の拡大・駅の要員削減などの効率化が進み、利用者の立場に立った安全・サービスの向上に向けた運動が重要だ。

ローカル線を守るには、自治体と連携し、国労全体で守る取り組みが必要だ。

## 中尾孝志代議員（近畿）



組織拡大では、他組合員との対話が不足している。国労の先輩方が今の労働条件を勝ち取ってきた。今の会社の現状は、若い社員にとっては、かわいそうだ。この現状を伝えるためにも掲示板は一人でも設置

するべきだ。そして、ネットの活用などで私たちの要求を訴えるべきだ。

## 藤江一成代議員（岡山）



春闘は、他労組との運動の違いを見せるため、ストライキが必要だ。手当の年間臨給方式が問題ではないか。

ローカル線問題で、芸備線が廃線の危機にある。国交省大臣は「安易に廃線しないで」といつている。エリアとして、統一的な行動を提起してほしい。

## 永井義弘代議員（近畿）



駅では、営業時間を短縮した。利用者には、遠隔MVの順番待ちなど、不慣れな利用者はわからない。私たちは安全・サービスの低下につながる人減らし合理化に反対し、地域・職場から運動を強化していく。

一人勤務駅、駅長業務者に対しての手当を求めていく。

夏季手当の超低額回答には、職場に大いに不満がある。内部留保金を活用すべき。そして、行き過ぎた経費削減を是正させよう。

## 加藤昌孝代議員（博多）



ボーナスの減額は内部留保を抱えながら労働者に押し付けている。若い社員たちの怒りに結びついていない。一時帰休は、税金で支払われている事がわかっていない。知らせて行くことが大事だ。

メーデーでは、30歳代の仲間が決意表明をした。総選挙は野党共闘を実現し、勝利しよう。

## 東幹男代議員（近畿）



夏季手当でローンが払えない状態なので年末手当の闘いを早急にして、来春闘につなげてほしい。

経費削減は、関連会社の削減・安全の低下につながる。駅の効率化は、利便性の低下だ。

## 沖川稔代議員（広島）



ローカル線を守る闘いでは、アンケート調査を行い、「交通弱者にやさしい鉄道」等の回答が寄せられました。芸備線廃止反対のため、岡山地本と連携して、自治体要請行動をしていきたい。

シニア社員は、社員と同等の仕事をしている。賃金面の改善をしてほしい。



退任される森田文一委員長、新田敏雄執行委員、お疲れさまでした。

### 2021年度国労西日本本部執行部任務分担

役職名	氏名	地本	任務分担
執行委員長	植田重信	近畿	総括、総務、法対
執行副委員長	藤野能章	北陸	業務総括
執行委員	中野健二	広島	財政部長、共闘部長、
書記長	大北真也	近畿	企画部長、家族会
執行委員	倉下文明	米子	業務、組織
執行委員	片岡有宏	岡山	教宣部長、業務
執行委員	中本博次	近畿	調査・福祉対策部長、業務
執行委員	大和忠昭	近畿	貨物担当部長、組織
執行委員	先田勉	近畿	業務部長
執行委員	伊野活行	近畿	組織部長、業務
特別執行委員	森田文一	近畿	
会計監査員	福井和義	近畿	
会計監査員	出智浩	近畿	
青年部長	大北真也	近畿	青年部長
女性部長	谷沢由紀恵	近畿	女性部長

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

**NEW/ 生きるためのがん保険 Days 1**

**NEW/ 生きるためのがん保険 Days 1 プラス**

アフラックはがん保険契約件数 No.1

アフラックは「生きる」を創る。アフラック 東京第二法人営業部

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階 TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658